



「日本列島ジオサイト地質百選」

全国地質調査業協会連合会，
地質情報整備・活用機構編著

オーム社刊 A5版181p.

2007年10月20日発行，定価2,800円(税別)

ISBN978-4-274-20460-9

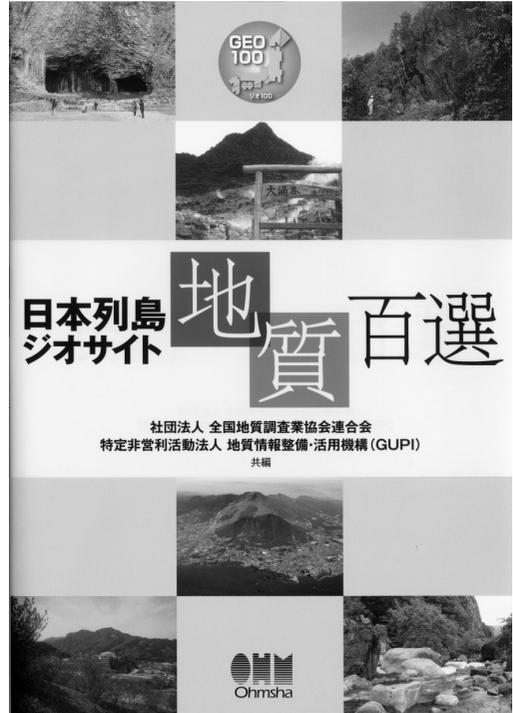
この度、日本の地質百選についての解説書が刊行されました。日本の地質を広く理解してもらうため、また地質遺産としての保護・活用を目指し、日本全国から選ばれた地質遺産が紹介されています。今後、紹介された地質遺産の中にはユネスコの推進するジオパークの選定候補に挙がってくるものがあると思われると思います。

選定にあたっては、地質学上の重要性だけでなく、観光資源の有用性、地学教育への寄与、地域発展への貢献等が考慮されています。本書は、その選定方法に基づき、選定された83箇所を紹介した地質リストです。各選定箇所につき2ページが割かれています。その半分を写真が占め、その残りに以下の内容が記載されています。

1. ジオサイトの特徴・見所
2. 所在地・アクセス情報
3. 関連する見学場所、ホームページURL
4. 記念物指定の有無・その種類
5. 地質学年代上の位置づけ、地質学的知見

本書は少ないスペースにも関わらず、非常に簡潔に特徴がまとめられています。随所に、地質とかわる私たちの生活や地質に因んだ歴史の話が織り交ぜられています。それにより、地学を専攻したことのない人でも親しみを感じられるよう配慮されています。冒頭には日本の地質概観が述べられており、日本の地質の全体像を知るのによい本であると思われます。

ところで、このような日本を一括りに網羅したリストやその記載は本書が初めてではないでしょうか。しかも、詳細な情報を得ようと思ったら、本書の中に関連するホームページが記載されています。地質に興味を持ったならば、巻末の地質を学べる博物館や展示施設の一覧が役立つでしょう。自由度が高く、読み手



によって使い方は様々な本なのです。私は今回、この書評を書く機会に恵まれ、各選定箇所の特徴や、なぜ他でもないその場所が選ばれたのか等に考えをめぐらせました。一選定箇所だけをみると、華やかさに欠けるように思われても、百選全体を見渡すと、どこも欠かせない場所ばかりです。地質現象を理解するには一つの現象だけを理解すればいいものではないということをも暗に教えてくれます。

地質百選と謳いながらも掲載されているのは83箇所であり、その点では未完成な本です。しかし、残りの選定箇所に思いをめぐらせる余地を残してくれていることにより、読み手を楽しませてくれます。

日本列島の構造上、地質や地形は私たちの暮らしに密接に関ってきました。本書はそれを理解するのに最適な代表地を示してくれていると思います。近年、地学を含め自然体験が希薄になりつつあると指摘されていますが、本書をきっかけに地学への関心を高めると共に、地学に対する理解が深まることを期待します。 (地質情報研究部門 福山蘭子)